



竹千代賞

今日のレシピ

柴
沙
英

始めに用意するのは

ただ何もない真っ白な空白

これを一日の始まりと名付け

ここから材料を加えていきます

目が覚めて おはようございます

眠気を堪えて挨拶をしたら

朝の欠片を見つめます

心地の良い陽の光

うとうとしたら穏やかなテイストで

なんでもないことを

なんでもないことと混ぜ合わせます

例えばいつもの会話とか

少し味気ないご飯の味とか

素っ気ない君の横顔とか

まとめて私らしく混ぜ合わせます

一度として同じ欠片は見つからない

一度として同じ味は作れない

私の進む未来には

まだまだ知らない味がたくさんあるのかな

時には甘い甘い恋の味

時には苦い悲しみの味

とても口にできないような

そんな今日が出来上がる時もあるよ

雨に降られて落ち込んで

虹を見て元気をもらったり

君に近づいて喜んで

君が分からず嘆いたり

ほんの少しのことで揺れ動く毎日



今日が生み出す奇跡の連続だ
どんな今日も残さず食べたなら
大人になった私が私を待ってる

ただいま おかえり お疲れ様
二四の欠片を集めて

隠し味に君の笑顔を混ぜよう
なんでもない一日を

今日のレシピと名付けます

今日はどうな味が生まれるのかな
夜の星空を眺めて

瞳を閉じる前に振り返ってごらん
最後に夜の静けさを混ぜて

少し君のことを想いながら
見たことない今日の出来上がり

これを私は幸福と呼びます